

—実践例— 五年 「三角形と四角形」

- 操作活動を通して、きちんと重ね合わせることでできる図形は、位置に関係なく合同であることを知る。

見通し	確かめ
教師の発問・指示 ○①②③④⑤⑥⑦と合同であるかどうか、確かめる方法はないかな。	○半紙に写しつけて確かめよう。 ○自由に動かしてきちんと重ねるかを調べよう。
児童の主な反応 ○辺の長さを測る。 ○角度を測る。 ○薄い紙に写して重ねてみる。	○三つの四角形を写しとる。 ○⑦を写しとる。 ○ずらす、回す、重ねるなどして重ねるかを調べる。

(二)音楽科授業改善の工夫

①音楽の楽しさを求めて

- 児童の興味、関心を加味して教材を選択し、学習内容を精選していく。
- 身体表現や遊びなどを適宜取り入れ、楽しさの中で基本的技能を身につけさせていく。
- 視聴覚機器や絵などを効果的に活用し、表現意欲を高める。
- 児童が進んで発表しなくなるような場面を設定し、互いに認めあい、励ましあわせる。

—実践例— 三年 「身体表現」

- 「ウンパッパ」の三拍子のリズム伴奏を工夫し、楽しく歌唱したり、身体表現したりできるようにする。



教育課程の研究授業

開	展	教師の発問・指示	児童の主な反応
○グループごとに楽器を分担してリズム伴奏をつくりましょう。 ○中間発表をしましょう。 ○どうしたら○○班はうまくいくのでしょうか。	○よくできた○○班にリズム伴奏をお願いして、棒とびをしましょう。	○楽器を分担し、曲に合ったリズムを考えあい、教えあう。 ○グループごとに発表する。 ○三拍子の一、二、三にすればいいと思います。	○グルーブごとに楽器を分担し、曲に合ったリズムを考えあい、教えあう。 ○グルーブごとに発表する。

②音楽の美しさを求めて

- 歌唱や伴奏を数多く聴かせ、美しい表現を聴き分ける力と意欲を育てる。
- 美しい表現の基本となる発声、楽器の奏法など、学年の段階にあった内容を確実に習得させる。
- 発表の場を設け相互評価させていく中で、より美しい表現への意欲を持たせる。

—実践例— 六年「視聴覚機器の活用」

- 副次的旋律（低音部）を明るい発声で歌うことができるようにする。

- 視聴覚機器の活用により、情景や曲想についてのイメージを持たせ、美しい表現に役立たせる。

(三)音楽の生活化の工夫

- ①荒小タイム  
○火曜六校時 三年生以上対象  
○主として全体合奏をする。

月	時数	曲目	備考
5	4	鼓笛(校歌)	運動会出場
2	2	鼓笛(タツ子) 町民の歌	

②伸びゆく活動

- 土曜三校時 全校生対象  
○月二回程度を音楽活動にあてる。
- 全体で合唱や身体表現をする。
- ③集会における合唱  
○全校朝の会で月の曲を歌う。  
○学級朝の会でテープに合わせ、月の曲を歌う。(火・金)

- 学級終わりの会で愛好曲を歌う。
- 各種集会時には全校生で歌う。
- ④各種行事への音楽的な参加

四 研究の成果と今後の課題

(一)研究の成果

- 算数や音楽に対する児童の興味、関心が高まり、児童の主体的活動が目立つようになった。
- 小集団学習等を通じ、ともに学び、高まり合おうとする協力的な姿が出てきた。

(二)今後の課題

- 主体的学習態度を一層伸ばし、それを他教科にまで波及させる。
- 音楽の基礎基本を確実に習得させるとともに、音楽的環境を整える。